

# 日建連の木造・木質建築普及への取組み

一般社団法人 日本建設業連合会

2021年9月13日

当会は、全国的に総合建設業を営む企業及びそれらを構成員とする建設業者団体が連合し、建設業に係る諸制度をはじめ建設産業における内外にわたる基本的な諸課題の解決等に取り組んでいる

法人会員142社・団体会員5団体・特別会員7社で構成

# 会員企業の木造・木質建築事例

## ● この2年あまりで、中高層木造建築が次々と実現

<p><b>兵庫県林業会館</b> 設計施工：竹中工務店 竣工：2019年1月</p>  <p>地上5階 延床面積：1,567m<sup>2</sup> RC造+鉄骨造+木造</p>	<p><b>PARK WOOD 高森</b> 設計施工：竹中工務店 竣工：2019年2月</p>  <p>地上10階 延床面積：3,605m<sup>2</sup> 鉄骨造+木造</p>	<p><b>アネシス茶屋ヶ坂</b> 設計施工：清水建設 竣工：2020年7月</p>  <p>地下1階・地上4階 延床面積：3,211m<sup>2</sup> RC造+木造</p>	<p><b>タクマビル新館</b> 設計施工：竹中工務店 竣工：2020年10月</p>  <p>地上6階 延床面積：3,354m<sup>2</sup> 鉄骨造+木造</p>	<p><b>桐朋学園宗次ホール</b> 設計施工：前田建設工業 竣工：2021年3月</p>  <p>地下1階・地上3階 延床面積：2,392.56m<sup>2</sup> 木造一部RC造</p>
<p><b>プラウド神田駿河台</b> 設計施工：竹中工務店 竣工：2021年3月</p>  <p>地上14階 延床面積：2,529m<sup>2</sup> RC造+木造</p>	<p><b>(仮)大通西1丁目プロジェクト</b> 施工：清水建設 竣工：2021年8月予定</p>  <p>地下1階・地上11階 延床面積：6,160m<sup>2</sup> RC造+木造</p>	<p><b>(仮)銀座8丁目開発計画</b> 設計施工：竹中工務店 竣工：2021年10月予定</p>  <p>地上12階 延床面積：2,457m<sup>2</sup> 鉄骨造+木造</p>	<p><b>The Parkhabio SOHO 大手町</b> 施工：大豊建設 竣工：2022年6月予定</p>  <p>地上13階 延床面積：未発表 RC造+木造</p>	<p><b>(仮)日本橋本町一丁目計画</b> 設計施工：竹中工務店予定 竣工：2025年3月予定</p>  <p>地上17階 延床面積：約26,000m<sup>2</sup> 鉄骨造+木造(設計中)</p>

出典：各社ホームページより抜粋

# 日建連としての取組み

## 【会員企業において】

- ・ 企業のSDGs達成への取組み、ESG投資の観点から木造・木質建築の相談・要望が増加
- ・ 耐火木造建築の設計・施工法が開発・普及し、木造・木質建築の大規模・中高層化が可能
- ・ カーボンニュートラル宣言により、脱炭素効果の高い木造・木質建築の関心が加速



## 【日建連において】

- ・ 会員企業の中で木造・木質建築への取組みに温度差、普及促進に様々な課題
- ・ 日建連への政府・行政・団体等からヒアリング・意見照会・委員派遣等の依頼が増加
- ・ 製造・施工・運用時に炭素排出量小と炭素貯蔵可である木材利用拡大が必須



## 総合建設業団体（ゼネコン）として、下記を目的として

- ・ 大規模・中高層建築物の木造・木質化を推進
- ・ 事例や関係の諸課題を共有
- ・ 課題に対し関係団体と連携し、提言等を対外発信

2020年12月「木造・木質建築普及ワーキングチーム（WT）」を設置

参加企業：22社

浅沼組・安藤・間・大林組・奥村組・鹿島建設・熊谷組・鴻池組・五洋建設・清水建設・大成建設・大豊建設・竹中工務店・東亜建設工業・東急建設・戸田建設・ナカノフドー建設・西松建設・長谷工コーポレーション・フジタ・前田建設工業・馬淵建設・三井住友建設

## ● 普及への課題とサブワーキングチーム（SWT）の設置

① 社会的認知度の不足：耐震性・耐火性・耐久性など

➡ 環境・木質建築情報 SWT

② 木材利用によるメリットの認知度不足：温もり・ストレス軽減効果など

➡ 木の建築特性見える化 SWT

③ 鉄筋コンクリート造・鉄骨造との価格競争力：高コスト化・耐火集成材

➡ 標準化・規格化 SWT

④ 厳しい防耐火規制：諸外国規準との差異、耐火建築と準耐火建築

➡ 関連法規制 SWT

## ● サブワーキングチームの活動内容

### 1 環境・木質建築情報 SWT

木造・木質建築の関連情報を集約、建設分野での木材利用の社会認知と理解を訴求

- ・ 木造・木質建築の情報収集と共有、発信
- ・ 木造・木質建築のライフサイクルCO2削減量の算定方法に関する情報を整備

### 2 木の建築特性見える化 SWT

木造・木質建築における木材利用について、メリット・デメリットの整理・発信

- ・ 工期・コスト・環境・メンテなどの情報を収集・整理
- ・ 省庁・大学などの専門家によるレクチャー、意見交換の実施
- ・ 会員企業が建築主への説明根拠として活用できるデータベースの構築・発信

### 3 標準化・規格化 SWT

木造・木質建築普及には標準化・規格化によるコスト圧縮は必須課題、  
木関連協会団体への積極的な提言、協力・普及を依頼

- ・ 各協会団体へのヒアリングを実施
- ・ CW法についてヒアリング実施、国交省・林野庁への提案

### 4 関連法規制 SWT

現行法令の適用により実現した木造・木質建築の事例収集や建築基準法等の合理化について  
意見を集約、関係方面への提案

- ・ 大規模・中高層木造建築に関する法規制及び運用上の課題を調査
- ・ 木造・木質建築の関連法規制の合理化についての検討

- **建設業における脱炭素社会実現への貢献**
  - ・ 製造・施工段階におけるCO2排出量低減
  - ・ 運用段階と解体後の再利用によるCO2固定量拡大
- **建設業における非住宅分野への木材利用拡大**
  - ・ 鉄やコンクリートに代わる材料としての木材利用
  - ・ 森林資源と地域経済の持続可能な好循環を創出
- **建設業における労働力不足と働き方改革への貢献**
  - ・ 軽量・加工容易性による生産性の向上
  - ・ 工場生産・ユニット化工法による生産性の向上